



平成23年4月15日(金)
荒川水系渇水調整協議会
(事務局：関東地方整備局)

記者発表資料

平成23年度 第1回荒川水系渇水調整協議会 (春季定例会)の開催結果について

荒川水系渇水調整協議会(春季定例会)開催される 今後の対策等について確認

- 開催状況 日時：平成23年4月14日(木) 14:40~15:30
場所：さいたま新都心合同庁舎2号館 5階 共用中会議室503
協議会構成：国土交通省関東地方整備局、東京都、埼玉県、独立行政法人水資源機構
協議会の目的：荒川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。
- 現状と今後の見通し(詳細は、別添概要書参照)
 - ・ダム貯水状況 荒川4ダムでは、平年を上回る貯水量(9,887万 m^3 平年比153%)
※平年比は3ダム(二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池)に対する割合。
 - ・今後の見通し 荒川4ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムの貯水量が不足すること考えられます。
- 今後の対策(詳細は、別添概要書参照)
 - ・ダム等水資源開発施設については、きめ細かな水運用を行っていく。
 - ・必要に応じて、節水協力の要請と取水制限等の機動的な対応を行っていく。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、
神奈川建設記者会、東京都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部水政課	住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館
水政調整官 やこ やすゆき 八子 康幸(内線) 3515	電話 (代表) 048-601-3151 (水政課夜間直通) 048-600-1334 (河川環境課夜間直通) 048-600-1336
水政課長 わたなべ たけお 渡邊 猛雄(内線) 3551	
建設専門官 すぎはら いくお 杉原 郁夫(内線) 3557	
河川部河川環境課	
河川環境課長 たかはし よしかず 高橋 克和(内線) 3651	
建設専門官 よしかわ こうじ 吉川 宏治(内線) 3652	
国土交通省 荒川上流河川事務所	住所 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町3-12
副所長 まるやま まさる 丸山 勝(内線) 205	電話 (代表) 049-246-6371
管理課長 のじ はじめ 野路 一(内線) 331	

平成23年度第1回荒川水系渇水調整協議会（春季定例会）の開催結果について（概要）

1. ダムの貯水状況と今後の見通し

平成23年1月からの降水量と荒川4ダムの貯水量状況は、表のとおりで、降水量は平年を下回っていますが、貯水量は平年を上回っています。

	累加降水量	平年比	備 考
降水量 (1月から3月まで)	108mm	76%	平年を下回る (S41~H22平均)
荒川4ダムの貯水量 (4月13日0時現在)	9,887万m ³ (貯水率69%)	153%	平年を上回る (H13~H22平均)

※平年比は3ダム(二瀬、浦山、荒川貯水池)に対する割合。

荒川4ダム貯水量の内訳

ダム名	貯水量(万m ³)	貯水率(%)	平年比(%)
二瀬ダム	1,724	86	120%(H13~H22平均)
滝沢ダム	3,173	55	—
浦山ダム	4,258	76	105%(H13~H22平均)
荒川貯水池	732	72	75%(H13~H22平均)

※滝沢ダムについては平年データが無いため、他3ダムで平年比を計上。

荒川4ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期になることから、今後の降雨状況によっては、ダムの貯水量が不足すること考えられます。

2. 今後の対策

① 荒川ダム群においては、今後の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を踏まえて、きめ細かい運用を行っていきます。

このため、荒川ダム群の貯水量の状況や降雨状況の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。

② 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

※ ホームページでも情報をお届けしています。どうぞご利用下さい。
<http://www.ktr.mlit.go.jp> (水資源最新情報)

荒川水系渇水調整協議会

- | | | |
|-----|------------------------|---------------|
| 会 長 | 国土交通省関東地方整備局河川部長 | |
| 副会長 | 国土交通省関東地方整備局河川部広域水管理官 | |
| 〃 | 東京都都市整備局都市づくり政策部長 | |
| 〃 | 埼玉県企画財政部地域政策局長 | |
| 委 員 | 国土交通省関東地方整備局河川部水政課長 | |
| 〃 | 〃 | 〃 河川計画課長 |
| 〃 | 〃 | 〃 河川環境課長 |
| 〃 | 〃 | 〃 河川管理課長 |
| 〃 | 〃 | 荒川上流河川事務所長 |
| 〃 | 〃 | 荒川下流河川事務所長 |
| 〃 | 〃 | 二瀬ダム管理所長 |
| 〃 | 東京都都市整備局都市づくり政策部 | |
| | | 水資源・建設副産物担当課長 |
| 〃 | 〃 建設局河川部計画課長 | |
| 〃 | 〃 水道局総務部施設計画課長 | |
| 〃 | 埼玉県企画財政部土地水政策課長 | |
| 〃 | 〃 県土整備部水辺再生課長 | |
| 〃 | 独立行政法人水資源機構管理事業部管理企画課長 | |
| 〃 | 〃 | 利根導水総合事業所長 |

関東地方の主要な河川と水資源開発施設



荒川ダム群等の現況と今後の対策（案）について



二瀬ダム(平成23年4月13日撮影)

平成23年4月14日

関東地方整備局

1. 荒川ダム群等の現況

(1) 降水量

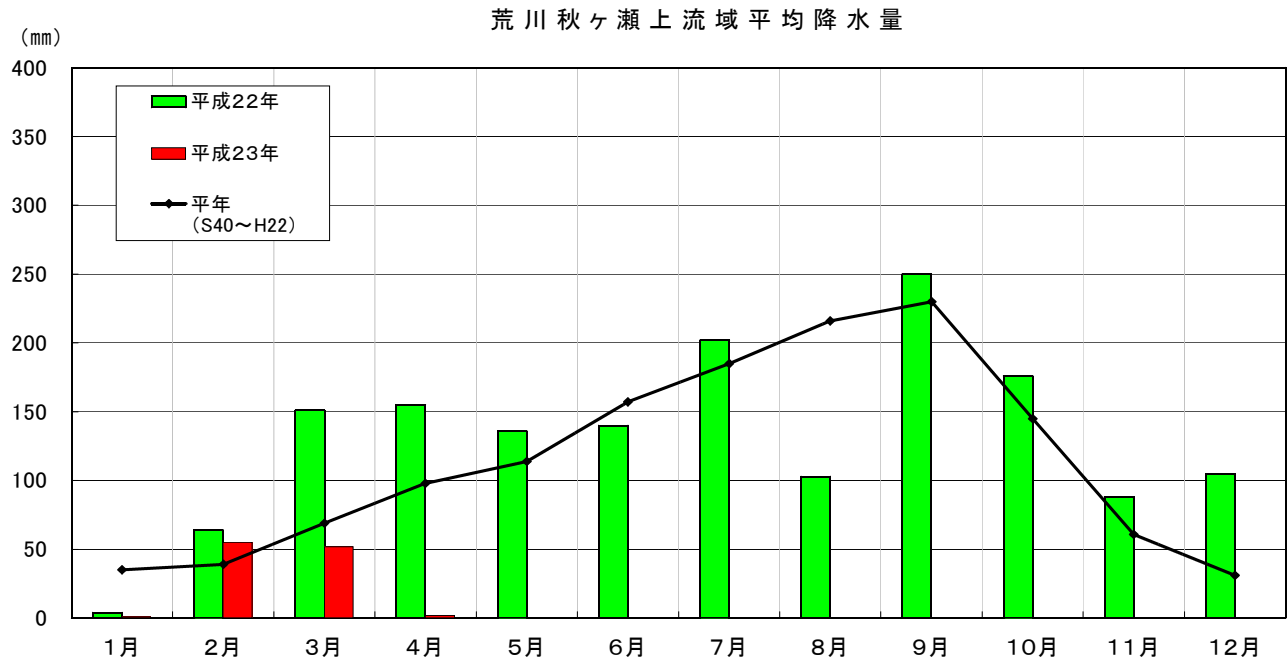
平成22年の荒川秋ヶ瀬上流域の降水量は、1月・6月・8月を除き平年を上回りましたが、1月においては、わずか4mm（平年比11%）と極端に少ない降水量であり、また8月においても103mm（平年比47%）と平年の半分以上の降水量となっています。

平成23年1月の降水量は昨年より少なく1mmとなっており、統計期間で最も少ない降水量となっています。1月から3月の累加降水量は108mm（平年1月～3月までの累加143mm）と平年の約76%となっています。

4月の降水量は、13日までで2mmとなっています。

（図－1、表－1参照）

図－1



表－1 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量

	単位 (mm)														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要	
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水	
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水	
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水	
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水	
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水	
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水	
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水	
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水	
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水	
平成22年	4	64	151	155	136	140	202	103	250	176	88	105	1,574		
平年 (S40~H22)	35	39	69	98	114	157	185	216	230	145	61	31	1,380		
平成23年	1	55	52	2									110		
平年比 (%)	3	141	75	2									8		

平成23年4月12日まで

※. 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※. 秋ヶ瀬上流域面積 2,021km²

(2) 荒川ダム群の貯水状況

平成22年の荒川ダム群（二瀬ダム、滝沢ダム、浦山ダム、荒川調節池）は、6月3日に貯水量8,051万 m^3 、常時満水容量に対する貯水率56%に達しました。その後概ね平年並の降水量だったことから貯水量の低減を抑え、7月末の時点で夏期制限容量を維持することができました。

11月以降は、平年を上回る降水量であったことから貯留に努め、平成23年4月13日0時現在の貯水量は、9,887万 m^3 （常時満水容量14,420万 m^3 に対して69%、平年の貯水量6,460万 m^3 に対して153%）と平年を上回っています。

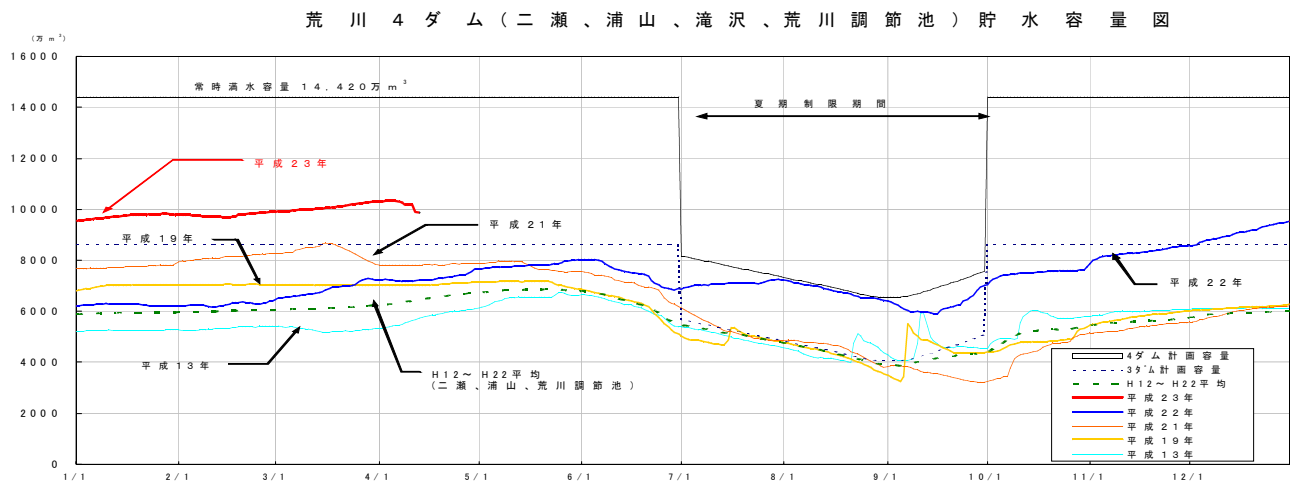
（表－2、図－2 参照）

表－2 荒川4ダム貯水量

ダ ム 名	有 効 容 量 (万 m^3)	貯 水 量 (万 m^3)	貯 水 率 (%)	平成23年 4月13日0時現在	
				前日補給量 (万 m^3 /日)	平 年 比 (%)
二瀬ダム	2,000	1,724	86	0	120
滝沢ダム	5,800	3,173	55	2	—
浦山ダム	5,600	4,258	76	10	105
荒川貯水池	1,020	732	72	0	75
4ダム合計	14,420	9,887	69	12	153

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）
4. 4ダム合計の平年比は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の平年貯水量の合計に対する割合。

図－2



2. 今後の見通し及び対策（案）

（１）見通し

- ①. 平成２３年４月８日発表の気象庁の１か月予報によると、４月９日から５月８日の関東甲信地方の降水量については、「少ない」となっており、３月２４日発表の気象庁の３か月予報によると、降水量は、５月、６月は「平年並」となっています。

１か月予報（平成２３年４月８日発表）

＜向こう１か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞

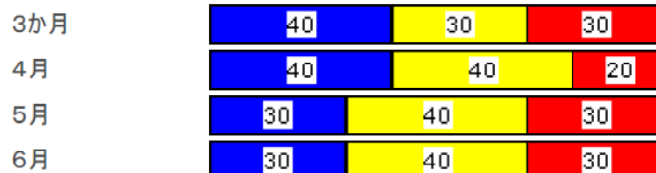


凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

３か月予報（平成２３年３月２４日発表）

【降 水 量】

[関東甲信地方]



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

- ②. 荒川４ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムの貯水量が不足すること考えられます。

（２）対策（案）

- ①. [荒川水系におけるダム群の貯水量の確保]

荒川ダム群においては、今後の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を踏まえて、きめ細かい運用を行っていきます。

このため、荒川ダム群の貯水量の状況や降雨状況の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。

- ②. [荒川水系渇水調整協議会の取り組み]

荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

3. 非洪水期における工事制限水位等について

H23. 4月現在

	工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間											
					平成23年						平成24年					
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二瀬ダム	二瀬ダム管理所	二瀬ダム	砂れき搬出工事	貯水池内の堆砂を二瀬ダム下流へ運搬する。	EL976.0m			EL967.5m		EL965.5m	EL976.0m		EL965.0m			
			制限貯水位 EL506.0m 制限期間 平成23年9月10日から平成23年9月30日 制限貯水位 EL518.0m 制限期間 平成23年10月1日から平成23年11月30日		EL542.0m 20,000千m3								EL542.0m 20,000千m3			
浦山ダム	荒川ダム総合管理所	浦山ダム	斜面対策工事	斜面対策工事を実施する。												
			制限貯水位 EL372.0m 制限期間 平成23年10月1日から平成23年10月14日		EL393.3m 56,000千m3				EL372.0m 33,000千m3			EL372.0m 33,000千m3			EL393.3m 56,000千m3	